



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和6年5月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<https://www.tokyos.johas.go.jp>

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のおみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】(令和5年5月31日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

先着順です。(抽選ではありません。)

日医認定産業医研修(令和6年5月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
4月2日(火)	10時～	5月8日(水)	14時～16時	産業保健と法～労働者の自己健康管理と産業医・会社の法的責任～	専門2
	10時30分～	5月16日(木)	14時～16時	産業保健と法 ～健康情報の取扱いと法～	専門2
	11時～	5月21日(火)	14時～16時	高齢労働者の健康管理	専門2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
5月8日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 4月2日(火) 10時～	<p>産業保健と法～労働者の自己健康管理と産業医・会社の法的責任～</p> <p>労働者は自分の健康管理を自らすべきは当然ですが、企業が労働者の健康悪化に対し責任を問われる場合もあります。さらに、今後、職域での公的な健康対策が進むと、これまでは業務上と考えられなかった疾病が業務上と考えられる可能性が高まります。そこで今回は、いわゆる「持病」の悪化に注目し産業保健の観点から企業や産業医の責任を考察します。中でも近時注目されているアルコール問題を素材とします。接待等が多くアルコール性肝炎に罹患したサラリーマンが肝臓がんとなり、就業上の配慮を受けつつも、後に死亡したというモデル事案を素材として、健康管理の責任は誰にあるのか、労災に当たるか否か、関係者の健康情報取り扱いの合法性、産業医の法的責任の有無、配置転換の義務、賃金減額措置の合法性などについて論じます。</p>	MOS合同法律事務所 弁護士 小根山 祐二	生涯・専門2	55
5月16日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 4月2日(火) 10時30分～	<p>産業保健と法 ～健康情報の取扱いと法～</p> <p>産業医が訴訟に巻き込まれると問責されることが多い健康情報の取扱いについて、関係法令や行政が示してきた考え方の要点を示したうえで、Q&A形式で、実務上の課題への回答例を解説します。</p>	一般社団法人日本ワーク&ライフ エンゲイジメント協会代表理事、 オフィスME代表、 社会保険労務士 高野 美代恵	生涯・専門2	55
5月21日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 4月2日(火) 11時～	<p>高齢労働者の健康管理</p> <p>我が国の高齢労働者の割合が増加する中で、事業場の安全衛生法上の取組・対策が求められています。加齢による身体機能の変化にどのように対応していくか、産業医の職務のポイントをまとめます。</p>	小島原 典子	生涯・専門2	55

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて4月1日(月)10時～です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
5月10日(金) 14:00～16:00	<p>【web研修会】レジリエンスについて</p> <p>仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。</p> <p>ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。</p> <p>EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。</p>	レジリエ研究所 所長/(一社)国際EAP協会日本支部 理事長 市川 佳居	70
5月15日(水) 14:00～16:00	<p>【web研修会】産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード&ツール⑩</p> <p>産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。</p> <p>「過労死対策」、「心理的安全性」、「健康経営優良法人認定制度」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。</p> <p>また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。通常よりも事例を多くご紹介します。</p> <p>本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。</p> <p>希望者には当日使用したスライドや情報元となるURL一覧を差し上げます。</p>	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	70
5月22日(水) 14:00～16:00	<p>【web研修会】メンタルヘルス対策と心の健康づくり計画作成のポイント</p> <p>職場や業務に対して悩みやストレスを抱える社会人は、近年増加傾向にあり、メンタルヘルス対策の取り組みは、事業場にとって喫緊の課題の一つと言っても過言ではありません。</p> <p>そこで、厚生労働省では、メンタルヘルス基本方針として、事業場に対して「心の健康づくり計画」の策定を指示しています。</p> <p>当研修では、その「心の健康づくり計画」の策定方法、ポイント等を解説します。</p>	本山社会保険労務士/ 行政書士事務所所長 特定社会保険労務士・ 行政書士・公認心理士 本山 恭子	70

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
5月7日(火) 14:00～16:00	<p>職場の感染症対策</p> <p>職場の感染症対策の重要性が増しています。</p> <p>これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。</p> <p>本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。</p>	濱田 篤郎	55
5月9日(木) 14:00～16:00	<p>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。</p> <p>この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。</p> <p>骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになりますので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。</p> <p>また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。</p> <p>実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。</p> <p>また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。</p> <p>◆重要◆体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください</p>	スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子	29

<p>5月17日(金) 14:00～16:00</p>	<p>労働安全衛生管理基礎講座②</p> <p>「労働安全衛生法」の中で 労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則 の理解も必要になります。</p> <p>本講座ではテキストに当センター発行「令和5年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。</p> <p>また労働衛生に関する最新の動向をご紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回はその2回目です。 1回目で、労働安全衛生法とは？その中には何が書かれているのか？など労働安全衛生法及び関係する諸規則等の全般について解説しましたが、今回は、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等について解説します。 ・3回目は、心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等 ・4回目は、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)を予定しています。 <p>本講座は令和5年度に実施した同名の講座と同様の内容となっておりますが、令和5年以降に改正された法令等については改正後の法令に基づき解説します。</p> <p>なお、「令和5年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。</p> <p>※一部媒体には5月23日開催と掲載されておりますが日程変更しました。</p>	<p>中山 篤</p>	<p>55</p>
<p>5月20日(月) 14:00～16:00</p>	<p>労働安全衛生法概論</p> <p>労働安全衛生法の基本的構造や規制項目を概観します。</p> <p>昭和47年の法施行時以降の法改正の目的やその特徴等も、併せて考えてみましょう。</p> <p>実務段階で多くの方がお持ちになるだろう疑問点や意見も踏まえた実践的解釈にも留意したいと思います。</p>	<p>飯島 正三</p>	<p>55</p>
<p>5月24日(金) 14:00～16:00</p>	<p>実践的な職場復帰支援／事例を通して ～メンタルヘルス不調者の持続可能な働き、再発防止を目指す～</p> <p>現状においてまだまだメンタルヘルス不調で退職したり、休職したり、働くことが続かない、復職しても再発してしまうなど、休職が長く続く場合もあるのではないのでしょうか。</p> <p>皆さんの職場では、受け入れる上司や同僚の復帰支援等はいかがでしょうか。</p> <p>働く仲間への支援、職場の支援体制や人事関連部署との連携はどうでしょう。</p> <p>これからは「治療と仕事の両立支援」を始めていくためにも、組織の意識が重要ですね。健康経営と言いつつもなかなか、実践が追い付いていないこともありますでしょう。産業保健スタッフ等の皆さんの悩みどころかもしれません。個への継続支援、当事者の思考パターンを知るなど、さらには組織的な支援の実践を、一緒に考えながらお伝えできればと思います。</p>	<p>労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子</p>	<p>55</p>
<p>5月28日(火) 14:00～16:00</p>	<p>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。</p> <p>診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくいのが困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。</p> <p>コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。</p>	<p>廣川 進</p>	<p>55</p>
<p>5月29日(水) 14:00～16:00</p>	<p>働き方改革関連法をめぐる現状と課題 ～時間外労働の上限規制とカスタマーハラスメント～</p> <p>2019年4月に施行された「働き方改革関連法」及び同法の基礎となった「働き方改革実行計画」について時間外労働の上限規制を中心として振り返り、長時間労働者の現状と課題及び2024年4月に施行された「適用猶予事業・業務(建設業、自動車運転者及び医師)の時間外労働規制のあらましを解説します。</p> <p>また、2023年9月に「精神障害の労災認定基準」に追加されたカスタマーハラスメントの対策について解説します。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>55</p>
<p>5月30日(木) 14:00～16:00</p>	<p>「メンタルヘルス・マネジメント入門」～社員を円滑に専門家につなぐ方法～</p> <p>社員にメンタルヘルス不調が発生した場合、その社員が医療、もしくは産業保健スタッフに繋がるまでは、主に管理監督者もしくは人事労務担当者が関わることになります。</p> <p>そこで、社員を精神科に繋げるためには、精神科が必要だという根拠を示し、かつ精神科の受診を勧めるという勧奨スキルも重要となります。個人情報やりとりにも、丁寧に「同意を取る」関わりが必要です。</p> <p>本研修では、社員を円滑に専門家につなげるための方法について解説を行います。</p>	<p>(株)ジャパンEAPシステムズ 臨床心理士 松本 桂樹</p>	<p>55</p>